

X06b 観測データアーカイブシステム: MOKA3

西原英治、吉田道利、市川伸一、青木賢太郎、渡辺大 (国立天文台)、洞口俊博 (国立科学博物館)、吉田重臣、浜部勝 (東京大学)

我々は現在、観測データアーカイブシステム MOKA (Mitaka-Okayama-Kiso data Archival system) の次世代バージョン、MOKA3 を開発中である。MOKA3 は、(1) 岡山・木曾両観測所の観測データを管理する分散データベースシステム、(2) WWW ベースのデータ検索および請求システム、(3) 請求されたデータの配送システム、の3つの枠組みからなる。MOKA3 では、MOKA2 で使われていた CGI (Common Gateway Interface) に代わり、Java が全面的に取り入れられ、MOKA3 のクライアントシステムは Java のアプレットとして実装されている。その結果、GUI (Graphic User Interface) のレイアウト変更、座標変換、早見画像の処理などの多くの機能が、クライアント側でローカルに処理されて、サーバーにアクセスするロスをなくしている。さらに MOKA3 では、観測データの有用性を高めるために、気象データ、全天画像、シーイングデータなどの環境データもデータベースにアーカイブされる。